

マイノリティ学生の4年制公立大学卒業率、2003年～2013年の間に向上するも  
白人学生との格差縮小は僅か（12月2日）

非営利教育団体のエデュケーション・トラスト（The Education Trust）は、大学卒業率の変化に関する報告書「満ち潮 ～大学卒業率向上は全学生に利益をもたらすのか？～（Rising Tide: Do College Grad Rate Gains Benefit All Students?）」を発表した。これによると、公立4年制大学全体の3分の2以上において、2003年～2013年の間に大学卒業率は向上していることが明らかにされた。また、卒業率が向上し、相当数のアフリカ系米国人学生、ラテン系米国人学生、及び米国先住民学生が在籍する大学255校においては、77%の大学においてこれらのマイノリティ学生の卒業率が向上していることも判明した。但し、これらのマイノリティ学生の卒業率の増加は10年間に6.3ポイント増で、白人学生の5.7%増を僅かに上回るに留まり、縮小された人種間の格差は10年間で1ポイント未満であった。さらには、マイノリティ学生の中では、同期間でのラテン系米国人学生と米国先住民学生の卒業率はそれぞれ7.4ポイント増と6.4ポイント増であったのに対し、黒人学生の卒業率は4.4ポイント増で、増加率は白人学生を下回り、格差が拡大していることが明らかになった。

なお、本報告書は、<[https://edtrust.org/wp-content/uploads/2014/09/TheRisingTide\\_120115.pdf](https://edtrust.org/wp-content/uploads/2014/09/TheRisingTide_120115.pdf)>からダウンロード可能。

The Education Trust, *College Graduation Rates Are Up for Black, Latino, and Native Students at Many Four-Year Public Colleges and Universities*

[https://edtrust.org/press\\_release/college-graduation-rates-are-up-for-black-latino-and-native-students-at-many-four-year-public-colleges-and-universities/](https://edtrust.org/press_release/college-graduation-rates-are-up-for-black-latino-and-native-students-at-many-four-year-public-colleges-and-universities/)